

橋本地域デマンド運行に係る準備会議（議事録）

日 時	令和2年7月20日（月）午後2時から	
場 所	八幡市立福社会館3階 活動室1	
相手方	井上 学	立命館大学アトリビュター 客員協力研究員
	金澤 重之	京都運輸支局 首席運輸企画専門官
	神田 将希	// 輸送・監査部門 旅客係長
	神原 孝夫	京阪バス(株) 経営企画室 課長
	三田 剛史	// 係長
	槻木 章	京都京阪バス(株) 管理部 部長
	井上 純	京都府タクシー協会 地域公共交通推進委員会 南部分科会会員
	岡本 弥四郎	NPO 法人道しるべ 理事長
	藤作 実	// 理事
	梶原 寛之	八幡市四区 区長
	松村 道郎	(株)トランストロン事業企画部 部長
	八坂 青志	(一社) 京都総合科学研究所 所長
当 方	市管理・交通課 安部課長 、 増永課長補佐 、 佐野係長	

●目 的

近日実施予定の実証実験について委員会より説明を受け、関係機関から所見を述べてもらう。

●第二次実証実験（概要）

目的	需要の有無や利用者増による運営あるいは運転手への影響を把握すること、または各種課題の抽出
期間	令和2年9月～10月（約4週間）【予定】
対象地域	橋本・西山の全地域
移動範囲	①地区内のラストワンマイル ②地区内～最寄りの公共交通 ③特定目的として市役所や診療所
利用料	無料
利用方法	道しるべの会員となり、移動サービス利用者として登録
運転手	有志10名を確保する予定

●デマンド交通の今後について（実行委員会（案））

1 1 月～1 2 月 第三次実証実験

2 月～ 3 月 第四次実証実験

4 月以降 本格運用

●関係団体からの意見及びアドバイス

京都運輸支局 金澤

- ・ 有償の実証実験を行う段階で運輸局への登録が必要。
- ・ 当該地域は公共空白地であり、青ナンバーで賄えないので NPO によって賄うという議論を地域公共交通会議で行う必要がある。多くの団体がいきなり本登録を目指して議題にあげることがあるが、これは紛糾する。
- ・ 当該地域に既存の公共交通以外の移動手段が必要であることを議論した上でドライバーの研修や運行管理者の教育はあらかじめ準備を済ました上で本登録に進んでいくことになる。
- ・ バスへ乗り継ぐという案は良い。ただし道路交通法上、バスの停留所に自家用車は停車出来ません。警察と十分協議してください。
- ・ 有償運送の実験についてはタクシー会社を巻き込む方法がある。タクシー会社に乗合いの許可を取っていただき、ニーズを調査してもらう。

京阪バス(株) 三田

- ・ 政府の緊急事態宣言を受けて利用者が激減
- ・ 4 月 5 月の場合、対前年比で 80% 以上の減少
- ・ この 2 か月で本年の赤字が確定。今後の事業継続も厳しい。
- ・ 想定されている移動先に駅や病院等が含まれているが、これはバスの利用者が多い移動先である。もし、駅や病院を移動先を含む場合、減便あるいは路線廃止も検討しないといけなくなる。

→ 移動先はバス停の結節点まで（藤作）

→ 駅や病院等を実証実験の移動範囲に含めたのは利用者の目的地を把握するため、本格運用では含まない（八坂）

京都京阪バス(株) 槻木

- ・ パイは一つしかない。オンデマンド交通の利用によりパイは少なくなる。
- ・ オンデマンドは必要なのか、タクシーとの違いは
- ・ 市から受ける補助の内容を明確にすべき

- ・ 橋本地域はコミバスも通っており、交通不便地域ではないのでは

→ 利用者は総合病院ではなく町医者を利用を想定している（藤作）

京都府タクシー協会 井上

- ・ 個人的には様々なモビリティサービスが議論されるのは良い事
- ・ タクシーの領域が侵されている。料金の差。
- ・ 採算の合う単価設定をあらかじめしておくべき
- ・ 事業計画をもう少し具現化すべき
- ・ 交通空白地ではないので共存共栄は難しい

立命館大学 井上

- ・ ①と②の移動範囲案は良い。公共交通空白地ではないが、ラストワンマイルの移動が厳しいため、そこを支援するという事は理解できる。
- ・ ③については市役所や大きい病院はバス停までの移動をサポートし、バスやコミバスを利用してもらうと理解している
- ・ 距離のある個人病院を利用する場合、実証実験の対象にして良いと考える。ただし、行きは乗合いとし、帰りはタクシーを利用してもらう等の工夫は必要。
- ・ いかにすみ分けをするか。バスで行けるところはバスを利用してもらい、バス停から目的地までの坂は道しるべでサポートする。
- ・ 車利用中心となっている生活形態を公共交通利用に転換させる活動も必要。これが上位概念としてないと成功しない。
- ・ 採算ベースで考えるのではなく、車中心の生活形態を見直すきっかけとする活動にするのが良い。

四区区長 梶原

- ・ 住民の期待値は高い。市役所や病院を利用できないのであれば早めに地域にアナウンスする必要がある。

→ 募集の前に今の生活を見直すお話をする必要がある。（立命 井上）